

公 開 講 演 会

12 の言葉で刻む「女たちへ」 —「慰安婦」を見た人々の「記憶」を形にすること

新しい年、主の導きのうちに過ごされますようお祈りいたします。

当委員会は「セクシュアル・マイノリティ差別問題」と「セクシュアル・ハラスメント問題」「セクシュアル・ハラスメント相談窓口の設置条件」などを扱い、毎年講演会を開催してきました。

今回は「セクシュアル・ハラスメント」の極端な例の一つともいえる軍隊「慰安婦」について学びます。

講師は沖縄・宮古島で「慰安婦」に出合った方々のお話を聴き、その記憶を「戦場の宮古島と『慰安所』」として編集、宮古島にある「日本軍『慰安婦』の祈念碑の建立に尽力された講師をお招きします。

是非参加して学びのときをご一緒下さいますよう、ご案内致します。参加自由です。

主催 愛知西地区性差別問題を考える委員会 委員長 吉澤道子

後援 愛知西地区社会部 委員長 北垣 創

日 時 2014年2月22日(土) 午後2時～5時

場 所 名古屋中央教会 地下鉄「栄」駅 下車 5番出口

プログラム 2時～2時半「戦場のうた」上映、2時半～3時半 講 演、 3時半～4時 質疑応答

講 師 洪 琬伸(ホン ムンソ)さん

講師プロフィール

韓国ソウル生まれ。早稲田大学修士修了後、同大学アジア太平洋研究科「国際関係学」博士号取得（沖縄戦下の朝鮮人と「性/生」のポリティクス：記憶の場としての「慰安所」 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士學位論文 2012年3月）。日本に留学して以来、10年近く沖縄戦における「慰安婦」問題の聞き取り調査を行っている。博士論文調査過程で明らかにした宮古島の住民証言がきっかけに、2008年9月7日宮古島に「慰安婦」のための碑が建立。編著に『戦場の宮古島と「慰安所」－12のことばが刻む「女たちへ」』など。現在青山学院大学非常勤講師。

連絡先 吉澤道子 090-6578-0231 、島しづ子 090-1754-0104